

激闘百五十時間！力人の渾身に刮目せよ！！

DOOR KOI magazine



2015.5
VOL.10

特集

本場所をもっと楽しめ

あれやこれや

桜も稽古も花盛り

観戦レポ
2015春

取組以外のあれやこれや

興行、スポーツ、そして神事として。

本場所の15日間、取組以外にもあれこれイベントが発生する。

テレビをつけたとき、本場所を見に行ったときに見られたらラッキー!?

より一層相撲が好きになること間違いなし。

場所中の取組以外の主な進行を適当にご紹介。

賜盃・優勝旗返還 初日

賜盃とは天皇賜盃のことで、幕内最高優勝力士に対し贈られる大きな大きなトロフィーのことである。当時皇太子だった、のちの昭和天皇の下賜金によって1925年に作られた。このトロフィーはこの後国技館のエントランス正面のガラスケースの中に飾られ、その他の優勝杯や優勝賞品とともに来場者どもの記念撮影スポットとなる。台座のところには歴代の優勝力士の名前が刻印されたプレートがぐるりと貼り付けられている。

除幕式 初日

国技館の天井にぐるりと掲げられた、優勝力士が描かれた大きな額を掲揚する式。毎日新聞社寄贈。計32枚掲額されている。1、5、9月の東京場所で2枚ずつ新しいものが加えられ、古いものは外される。額はあらかじめ掲げられており、ロールスクリーン式のカーテンで隠されている。そしてヘンテコで大仰でドラマチックな曲とともにカーテンがするすると開き、そこには…



新序力士出世披露 中日(三月場所のみ五日目・中日・十二日目)

入門した若者たちは番付につく前にまず「前相撲」をとり、この新序出世披露をうけて翌場所から番付に載る。初々しい少年たちは師匠の化粧まわしを借りて土俵にのぼり、日本国民にご挨拶。当然多くの少年はマゲも結えておらず、なかには体もひよろひよろな者もいるが、これから番付を駆け上っていく彼らの一番最初のお披露目の場なのである。

協会ご挨拶

初日・千秋楽

● 日本相撲協会の理事長が東西の横綱と大関、関脇と小結をしたがえて日本国民にご挨拶。まあ挨拶の内容は毎度似たようなものだが、自分のごひいき力士が新三役になるとここに登場してくれるのでとっても嬉しい。最後に東西南北にむけてそれぞれお辞儀をするが、ときどき向く方向を間違えるやつもいる。

顔触れ言上

● 取組が一段落したからといってうかつにトイレに行っちゃいけない。テレビでは放映しないイベント、翌日の取組を行司が呼び上げる「顔触れ言上」の時間だ。しかも時間が押していると省略されてしまう。もう相撲観戦に来たならカテーテル!これしかない。

土俵入り

● 十両の土俵入りは14時過ぎごろ、幕内の土俵入りは16時前ごろ。髪つけ油の色とりどりの化粧回しをしめたちからびとが一同に会する。このあたりから土俵上の照明もより明るくなり、華やかさが増してくる。十両土俵入りの裏では続々と幕内力士たちが場所入りしてくるため、あえて外で出待ちをするのも楽しみ方の一つ。



これより三役

千秋楽

● 正式には「三役揃い踏み」といい、千秋楽の結びの3番の前に行われる。東西の横綱・大関・関脇・小結の3名が、東方は前に2人うしろに1人、西方は1人うしろに2人と三角形に並び、3人揃って四股を踏む。三角形は扇の形を表しており、1人のほうは「扇のカナメ」と呼ばれる。上位陣の人数などによっては大関・関脇・小結でも三役揃い踏みに出られない場合もある。そしてこの千秋楽のみ、「これより三役」以降の取組に勝った力士には「弓矢に関するもの」が与えられる。最初の取組に勝った力士には「小結にかなう」として矢が、2番目の取組に勝った力士には「関脇にかなう」として弦が、結びの取組に勝った力士には「大関にかなう」として弓が与えられる。(現在では弓は省き、結びの取組に勝った力士に代わって弓取力士が弓を受け取り、弓取式を行う。)
● テレビで観ていると「これより三役」という字幕スーパーの動きがなんかヘンテコなので要チェック。四股を踏んだあとクルリンと回転する日馬富士にも注目だ。



弓取式

● 弓取式は勝者の舞。全取組が終了した後に行われる。
● 本来は結びの一番の勝者が行っていたが、現在では作法を心得た幕下の力士が演ずるようになった。
● 弓取力士は勝った力士の代役のため、勝った力士の側から土俵に上ってくることに注目しよう。そしてもしも弓を落としたり足で捨てることになっている。足の甲に弓を乗せてびよっと跳ね上げるという、お母さんがいたら怒られそうな所作が正式である（土俵上で手をつくのは縁起が悪いため）。現在弓取式を勤めている聡ノ富士（伊勢ヶ濱部屋）の弓取りは要チェック。弓がうなりをあげて高速回転する！



表彰式

千秋楽

● 17時半ごろから行われる表彰式では、幕内最高優勝力士への勝利者インタビュー、自衛隊による生演奏（決してテレビに映らないが2階で演奏をしている）による国歌斉唱、賞状や天皇賜盃をはじめとした各種優勝杯や優勝賞品が贈られ、国技館内は祝賀ムード一色になる。ネットを賑わすでかいマカロン、しいたけや梅干しなどのご当地名産品など多くの賞品があるが、そのすべてが優勝した力士の部屋へ贈られる。世界中から贈られる友好杯は形も様々でお国柄が出ており面白い。表彰する人がおちゃめな場合、優勝杯を持ってよろよろしたり面白いコメントを言ったりするので館内も盛り上がる。テレビ観戦の場合は同時に三賞受賞者のコメントなどもあり、最終的には感動的な総まとめVTRが流される。そして18時になると突然ニュートラルなテンションの「6時のニュース」が始まり、15日間の激闘は幕となる。

出世力士手打式／神送りの儀式

千秋楽

テレビでは完全に放映されないが、国技館内にいけばお目にかかれる（ユーストリームでも見られるが、視聴料が必要）。本場所初日イブの土俵祭りでお呼びした神様に帰っていただく儀式。出世披露を受けた若い力士がお神酒を振舞われ、若者頭（わかいものがしら、若い力士の監督のような存在の人）、世話人（用具など管理や雑務をこなす人）らとともに三本締めを行う。そして一番格下の行司さんに神様が宿っているというテイで胴上げすることで、神さまに天にお帰りいただく。なぜ一番格下の行司さんなのかというと、格上の行司さんはお年を召していて色々不安だからだと思われる。ちなみにお越しになる神様はヤマトタケルノミコトとタケミカヅチとタケミナカタである。

巡業戦線異状なし！

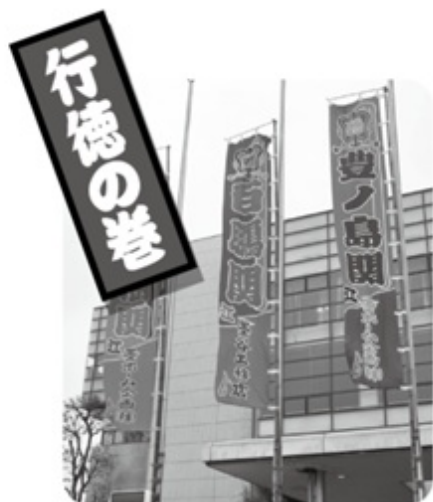
春巡業勝手レポ2015

大相撲人気が完全復活したといわれる今年、各地で巡業が目白押し！

力士たちは毎週のように各地を訪れ、花相撲をこなしていった。

民衆は彼らとのひとときの邂逅を楽しんだのである。

そんなめくるめくスモ充タイムを、あなたにもおすそわけ。



雨の行徳…春の陽気はどこへやら

筆者の実家は千葉県船橋市であるため行徳は目と鼻の先。とはいつつ、この地に足を踏み入れたのはおよそ××年ぶり。それくらい行徳には特に何の用事もなかったのだが、巡業が来るとなれば話は別だ。前の週までは暖かな陽気が続いていたというのに、この日はあいにく天気が悪く、おまけに寒い。人ごとながら客の入りはどうだろうと心配になる。駅からバスに乗って市民体育館に向かうと、のぼりが見えている！太鼓の音も聞こえて、テンションはうなぎ上りだ！

ふれ太鼓も今日は間近で

本場所ではやぐらの上から聞こえてくるふれ太鼓も今日は目の前。来場者たちはさっそく現れた「相撲っぽいもの」に盛り上がるが、音が反響してうるさいのかいせん遠巻き。晴れていたらもう少し外のほうでやったんだろうなあ…



行徳闘牙場所 (ぎょうとくとうきばしよ)

4月11日に千葉縣市川市の塩浜市民体育館で開催された。同市出身で元小結闘牙の千田川親方が企画。力士の現役時代のしこ名を冠した巡業名は珍しいらしい。当の親方はこのネーミングが少し恥ずかしかったようだ。





人気者には長蛇の列

一階エントランスでは握手会が始まっていた。人気力士たちが交替で登場しサインや記念撮影に応じる。そしてそこで起きる阿鼻叫喚（赤ちゃんだっこ）。掲示板には力士は30分くぎりで交替すると書かれているが、この長蛇の列でどうするんだろう…とと思っているら我々の目の前で無情にも高安から誉富士へ交替となった。「ああ高安行っちゃった!」と誉富士の前で無礼なことを言う我々に誉富士は「すみませんね～交替しちゃってね」と優しくった…。

力士のゲシュタルト崩壊

とにかくそこらじゅう力士だらけ。かたまったり一人でいたりもうむちゃくちゃな騒ぎ（筆者の脳内）である。筆者は栃煌山とぶつかったから精神が入れ替わったかもしれない。尾車部屋の天風がスライム並みにいるんなどころに出没していたとき、千代丸は西側の通路に一人立っていたのであった。その姿は少し寂しげにも見えたのである…。



たらちねの 母も吾子らも おおはしゃぎ(適当)

地方巡業はいつもは観戦にこられない相撲ファンたちが大勢やってくる。お年寄りや子どもも今日は大はしゃぎ。小さな子どもたちは席に座り続けていることが難しいためか、通路を行ったり来たり。その脇を力士が通りすぎるとき、彼らは優しく子どもの頭をわしづかむ。おすもうさんは子どもに優しい… しかし相変わらず悲鳴は上がり続けるのであった。



取組をみるもをかし 出待ちをするもをかし

本場所では見られない力士たちの稽古風景、太鼓打ち分け、相撲甚句、初っ切りの土俵上での和やかな雰囲気。座って取組を見るのもよし、外に出て取組を終えた力士とふれあうもよし。ありがとうお相撲さん。またきてくださいね。





確実にいつもと違う客層

さてこの日は幕張、ここへ来るのは高校2年生のとき以来だ。今回の巡業はニコニコ動画が幕張メッセを借り切って行う大々的なイベントの催し物の一つなので、相撲目当てでない人の方が会場には多い。コスプレをした人も大勢いるし、会場は柵で区切られているとはいえ天井の方でひとつに繋がっているので向こうのほうの音もよく聞こえる。相撲ブースの反対側はプロレスで、あちらも大盛り上がり。

トークイベントどっかんどっかん

ニコニコ超会議場所の目玉イベントの一つ、嘉風や臥牙丸のトークイベント。前半の嘉風のトークでは向正面側の解説席に豊ノ島が座り、あれやこれやと茶々を入れる。仲のいい関取は誰ですか?の質問に「豊ノ島関です!」と答えるも、当の豊ノ島からはバツテンをもらって苦笑い。後半の臥牙丸はとにかく声がデカかった。ニコニコ生放送を通じてあだ名を募集したりなど(チョコ丸に決定)大いに盛り上がる。



おまえらvs力士など イベント盛りだくさん!

目玉イベントその2、「わんぱく土俵祭り」では関取vsネット上のわんぱく(いい大人)がぶつかり稽古。歯が立たないという点では同じだが、さすがネットのわんぱくたちは喋りや動きが違う。芸人のなかやまきんに君なども参加して、豊ノ島、嘉風、魁聖、照ノ富士、隠岐の海らが胸を出した。

ニコニコ超会議場所2015 (1日目)

4月25日、26日に千葉県千葉市の幕張メッセで開催された。ニコニコ動画をだいたい地上に再現したイベント内で2日にわたって行われた巡業。会場の様子はニコニコ動画上で生放送され、全世界から視聴ができた。





OB戦で往年の名力士が感動の名勝負!

目玉イベントその3「OB戦」では振分親方(高見盛) vs 不知火親方(若荒雄)、鳴戸親方(琴欧洲) vs 二子山親方(雅山)の夢の対戦。取組のあとには現役時代には見られなかったすがすがしい笑顔が見られた。その他MAD生動画「リアルSUMOU」など、いい意味で悪ノリ感のあるイカした進行が続いた。

力士たちも裏側でキャピキャピ

取組の様子は数カ所から撮影され、リアルタイムで全世界へ配信される。その様子が大きなスクリーンに映し出され、スクリーンの裏側からも見えた。花道…というかスクリーン裏側の力士だまりでは、出番のない力士たちがキャッキャッキャしながらじゃれあっているのが見えた。



巡業を見に行きたくなったら…

今年は相撲人気復活ということで例年にも増して全国津々浦々で巡業が開催される予定だ。5月の本場所後は東北・北海道方面へ、秋は西日本へと回っていく。あ〜どうしよう、あなたの街にもやってくるかもしれないぞ。行くのを迷っているのならぜひこの機会に足を運んでみよう! 巡業は絶対にあなただをガッカリさせはしない!

